

病院事業経営計画の進捗状況の報告について

1 本報告について

第二次経営計画(平成26年度～令和5年度。うち「後期計画」は令和元年度からの5年間)では、計画の進捗状況について、毎年点検・評価を行うこととしています。そこで毎年度、決算に合わせて実績と計画数値を比較する方法により進捗状況の確認・評価を行っています。

2 令和4年度の患者数等の概況

(1) 患者数

延べ患者数の推移は、新型コロナウイルス感染症が拡大した令和2年度に「受診控え」とされる顕著な減少(対前年度:入院△10.6%、外来△7.1%)があり、翌令和3年度は増加傾向にありましたが令和4年度は再び減少しました。経営計画の令和4年度計画値との比較では、入院は△9.6%、外来は△9.0%といずれも計画を1割弱下回る結果となりました。

その要因として、1年を通して新型コロナウイルス感染症の感染拡大(第6波～第8波)が繰り返される中で、流行地域からの患者受け入れを一時的に制限したことや、複数回の院内感染の発生に伴いその都度病棟閉鎖などの診療制限を行ったことが挙げられます。また、国の医療政策として、外来については地域の医療機関(かかりつけ医等)との役割分担を推進していることや、入院については入院期間の短期化を推進していることなども影響をしています。

(2) 手術件数、救急対応等

手術件数は1,098件で前年度より22件、2.0%増加しました。うち全身麻酔手術は432件で80件、8.0%増加、悪性腫瘍手術は186件で31件、20%増加しました。外来化学療法は年々増加し続けており、令和4年度は1,680件で、平成29年度の1,187件と比較して、この5年間で493件、41.5%増加しています。

救急外来患者数は5,119人で前年度より346人、7.2%増加、救急車による搬送受け入れ件数は2,036件で157件、8.4%増加し平成30年度以来4年ぶりに2,000件を超えました。

3 経営実績と計画値との比較

(1) 収益・費用

令和4年度計画値に対し患者数は下回りましたが、医療の高度化や、特に外来は高額薬品を用いた治療の増加などにより診療単価が上昇し、患者1人1日当たりの診療単価は計画値を上回りました(入院+8.9%、外来+32.9%)。そのため医業収益は、計画値に対して2億7,700万円、4.3%増加の66億5,100万円となりました。

医業収益と医業外収益を合計した総収益は78億7,800万円で、医業収益が改善したことや、計画策定時点で見込まれていなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金が6億2,800万円収入した影響などにより、計画値より9億1,600万円、13.2%増加しました。

費用は、材料費(薬品及び診療材料等)が数年前から計画値より高い水準で推移しており、令和4年度についても計画値より4億7,900万円多く、総費用は71億5,800万円で、計画値より3億9,800万円、5.9%増加しました。診療材料の購入方法については、令和4年度より共同購入事業(全国320病院が加盟)に参画し、使用品の標準化やコスト削減を目指すこととし、初年度は約1,080万円を削減することができました。事業を継続しさらに効率化を図っていきます。

(2) 収支

医業収支は計画値より1億3,200万円悪化し4億7,200万円の赤字となりましたが、純損益は計画値より5億1,800万円改善し7億2,000万円の黒字となりました。

また、内部留保資金残高(貸借対照表の流動資産から流動負債を差し引いた金額)は45億2,400万円で、計画値の35億1,300万円と比較して10億1,100万円良好な結果となりました。

4 新病院建設事業の進捗状況

第二次経営計画(平成26年2月策定)では、前期(平成26年度から平成30年度)において「病院機能と経営健全化の強化」を行い、後期(平成31年度～令和5年度)は「新病院建設に向けた取り組みとさらなる経営強化」を進めることとしています。この方針に基づき、令和2年8月に新病院建設基本構想を策定し、令和4年8月には建設候補地の決定と当面日程を公表し、令和5年2月に基本計画の策定に至りました。

基本計画では、将来にわたり上伊那医療圏における中核病院としての役割を果たすため、現在の診療科やセンター機能を維持・強化するとともに将来患者数予測を踏まえて病床数を199床とし、全ての入院病室を個室で整備する方針などを盛り

込んでいます。また、基本計画段階における概算総事業費を166億9,000万円とし、次年度以降の設計段階において精査することとしました。

5 評価・課題のまとめ

第二次経営計画後期計画を策定した平成30年度において新型コロナは予測にないため、経営計画と実績との比較において、新型コロナ感染症に起因した患者動向や補助金収入など予測外の差が生じ、その乖離がこの3年間で累積しています。

そのうえで、令和4年度の実績と計画との比較では、患者数が計画より少ないことにより病床稼働に関連する指標の多くは計画値に達しておらず、一方で医療の高度化の進展により、収益・費用は計画値を上回り、純損益ベースでは計画値を大幅に上回る結果となりました。

また、医療機能の強化では、在宅医療の充実に向けて令和5年3月に訪問看護ステーションを設置し指定事業所として運営を開始したことや、将来を見通して新病院建設事業を推進したことなどは、経営計画の方針に基づいた一定の前進が図られたものと評価しています。

今後、診療機能の根幹である医師数の増加に向けた継続した取り組みや、新型コロナ関連の補助金制度が終了した後の医業収支・純損益のさらなる改善が求められます。また、新病院建設事業の着実な推進と、新病院開院後における安定した医療提供体制の構築を目指し引き続き取り組んでいきます。

6 次期経営計画の策定について

第二次経営計画は、令和5年度をもって最終年度となります。同経営計画終了後においても、さらなる医療機能の向上による安定した医療提供体制の構築や経営安定化を継続して推し進める必要があります。また、新病院建設による多額の財政投資が経営に与える影響を踏まえた経営目標を定め、点検・評価を行い、計画的に経営安定化を図る必要があります。そこで、令和6年度から向こう10年間程度を計画期間とする次期経営計画について、令和5年度中に策定するよう取り組みます。

経営計画の進捗状況(令和4年度決算)

(単位 百万円、%)

【収益的収支】		決算			計画	比較	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度 A	計画上の 4年度 B	増減額 A-B	増減率 A/B
1	病院事業収益 ①	7,462	7,595	7,878	6,962	916	13.2
2	医業収益 ②	6,417	6,509	6,651	6,374	277	4.3
3	入院	3,638	3,698	3,795	3,855	△ 60	△ 1.6
4	外来	2,148	2,179	2,223	1,838	385	20.9
5	その他	631	632	633	681	△ 48	△ 7.0
6	医療相談収益等	456	457	458	505	△ 47	△ 9.3
7	他会計繰入金 ③	175	175	175	176	△ 1	△ 0.6
8	医業外収益 ④	1,044	1,086	1,227	588	639	108.7
9	他会計繰入金 ⑤	358	356	355	365	△ 10	△ 2.7
10	国県補助金	448	488	640	5	635	12,700.0
11	長期前受金戻入	218	220	211	198	13	6.6
12	その他	20	22	21	20	1	5.0
13	特別利益	1	0	0	0	0	—
14	病院事業費用 ⑥	7,216	7,182	7,158	6,760	398	5.9
15	医業費用 ⑦	7,169	7,153	7,123	6,714	409	6.1
16	給与費	3,777	3,666	3,565	3,716	△ 151	△ 4.1
17	材料費	1,885	1,966	1,985	1,506	479	31.8
18	薬品費	1,178	1,247	1,268	911	357	39.2
19	その他	707	719	717	595	122	20.5
20	経費	1,087	1,110	1,181	1,107	74	6.7
21	減価償却費	406	397	375	364	11	3.0
22	その他	14	14	17	21	△ 4	△ 19.0
23	医業外費用 ⑧	46	29	35	46	△ 11	△ 23.9
24	特別損失	1	0	0	0	0	—
25	医業収支 ②-⑦	△ 752	△ 644	△ 472	△ 340	△ 132	△ 38.8
26	経常収支 ②④-⑦⑧	246	413	720	202	518	256.4
27	純損益 ①-⑥	246	413	720	202	518	256.4
【資本的収支】							
28	資本的収入 ⑨	373	281	334	383	△ 49	△ 12.8
29	企業債	44	52	139	188	△ 49	△ 26.1
30	他会計繰入金 ⑩	223	198	188	195	△ 7	△ 3.6
31	国県補助金	102	29	0	0	0	—
32	その他	4	2	7	0	7	—
33	資本的支出 ⑪	601	488	515	592	△ 77	△ 13.0
34	建設改良費	163	92	152	198	△ 46	△ 23.2
35	企業債償還金	423	388	356	360	△ 4	△ 1.1
36	その他	15	8	7	34	△ 27	△ 79.4
37	資本的収支 ⑨-⑪	△ 228	△ 207	△ 181	△ 209	28	△ 13.4
38	内部留保資金	3,200	3,713	4,524	3,513	1,011	28.8
39	他会計繰入金 ③⑤⑩	756	729	718	736	△ 18	△ 2.4
40	収益的収支分 ③⑤	533	531	530	541	△ 11	△ 2.0
41	資本的収支分 ⑩	223	198	188	195	△ 7	△ 3.6

注 1 「計画上の4年度」は、第二次経営計画後期計画(R1~R5、H30策定)における令和4年度の計画値

2 「内部留保資金残高」は、貸借対照表の流動資産合計から流動負債合計を差し引いた額

経営計画の進捗状況(指標等)

区分			実績			計画	比較		
			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度 A	計画上の 4年度 B	増減 A-B	増減率 (%) A/B	
		単位							
1	のべ 患者数	入院患者数	62,475	65,793	65,015	71,905	△ 6,890	△ 9.6	
2		外来患者数	111,721	111,704	110,749	121,726	△ 10,977	△ 9.0	
3		健診者数	11,073	11,325	11,281	12,100	△ 819	△ 6.8	
4	1日平均 患者数	入院患者数	171.2	180.3	178.1	197.0	△ 18.9	△ 9.6	
5		うち救急センター	8.5	8.7	8.3	8.7	△ 0.4	△ 4.6	
6		うち一般病棟	122.7	120.2	115.8	130.3	△ 14.5	△ 11.1	
7		うち回復期リハ病棟	26.7	26.2	29.4	30.0	△ 0.6	△ 2.0	
8		うち地域包括ケア病棟	20.5	25.5	24.6	28.0	△ 3.4	△ 12.1	
9		外来患者数	459.8	461.6	455.8	503.0	△ 47.2	△ 9.4	
10		健診者数	45.6	46.8	46.4	50.0	△ 3.6	△ 7.2	
11	病床 稼働率	全体(運用239床)	71.6	75.4	74.5	82.4	△ 7.9		
12		うち救急センター(12床)	70.6	72.8	69.4	72.5	△ 3.1		
13		うち一般病棟(160床)	76.7	75.1	72.3	81.4	△ 9.1		
14		うち回復期病棟(35床)	76.3	74.8	84.1	85.7	△ 1.6		
15		うち包括ケア病棟(32床)	64.0	79.8	76.9	87.5	△ 10.6		
16	患者1人1 日当収益	入院収益単価	58,746	56,202	58,362	53,610	4,752	8.9	
17		外来収益単価	19,131	19,505	20,074	15,100	4,974	32.9	
18		健診収益単価	30,758	30,708	31,128	29,720	1,408	4.7	
19	財務状態	医業収支比率	89.5	91.0	93.4	94.9	△ 1.5		
20		経常収支比率	103.4	105.8	110.1	103.0	7.1		
21		内部留保資金残高	3,200	3,713	4,524	3,513	1,011		28.8
22		繰入金(基準内)	756	729	718	726	△ 8		△ 1.1
23		繰入金(基準外)	0	0	0	0	0		-
24	医業収益に 対する率	給与費	58.9	56.3	53.6	58.3	△ 4.7		
25		材料費	29.4	30.2	29.9	23.6	6.3		
26		薬品費	18.4	19.2	19.1	14.3	4.8		
27		経費	16.9	17.1	17.8	17.4	0.4		
28		減価償却費	6.3	6.1	5.6	5.7	△ 0.1		
29	医師数(3月31日現在)	人	36	34	33	30	3		
30	新規患者	外来患者数	15,539	15,973	16,170				
31		入院患者数	3,495	3,692	3,521				
32	紹介率	紹介率	49.9	50.4	47.6				
33		逆紹介率	57.8	53.1	53.4				
34	手術等 件数	手術件数	1,196	1,076	1,098				
35		うち全身麻酔手術	407	352	432				
36		うち悪性腫瘍手術	167	155	186				
37		外来化学療法件数	1,576	1,673	1,680				
38	退院患者の 入院経路 別	退院患者数	3,532	3,654	3,540				
39		うち外来	1,586	1,647	1,725				
40		うち救急車	635	654	706				
41		うち救急紹介	221	247	157				
42		うち紹介	1,090	1,106	952				
43	一般病棟平均在院日数	日	13.8	13.4	13.3				
44	救急外来患者数	人	4,569	4,773	5,119				
45	救急車搬送件数	件	1,732	1,879	2,036				
46	ヘリポート利用件数	件	4	7	7				
47	消化器病センター検査・治療件数	件	18,059	17,851	18,318				
48	透析 患者数	外来(1月平均)	44	42	38				
49		入院(1月平均)	5	9	9				
50	出前講座実施件数	件	2	5	9				